

日本の物流を支える 海のヒーロー

新型コロナウイルスの世界的な大流行により、我が国にも多大な影響があり、令和2年4月16日には全国に緊急事態宣言が発出される事態となりました。

こうした影響により物流需要の減退や、クルーズ船等の旅客の需要の減退などにより海運業界は未曾有の危機に直面してる中で日本の物流を支えるためコロナ禍においてもなお海事産業の第一線で働く方々のエールになればと皆様の取組の一例をご紹介します。

特集

海事分野における新型コロナウイルス感染症対策



日本の物流を支える内航船

【井本商運株式会社「たちばな」船長 藤原裕史】

本船は函館から東京間を結ぶ、コンテナ専用船です。新型コロナウイルスに関しましては当初、北海道における非常事態宣言をはじめ東京都も発令され、両寄港地を結ぶ本船内でも緊張が走りました。

感染防止対策としましては、マスク着用、手洗い、うがいの徹底、船内居住区の換気、こまめな船内消毒など、不要不急の外出を避ける中でストレスの溜まる船内に於いて、メリハリをつけた取り組みにより、乗り切っている現状です。中でも拘ったのが、衛生担当者である二等航海士による船内除菌係の設置です。これは、乗組員の自覚を促し、意識的に感染防止対策を行う為、一日一回船内消毒を行う中で、着岸時（荷役時）には作業員が触れた箇所に加え、普段乗組員が触れる箇所に亘り、消毒を行っております。

乗組員の体調管理は、安全運航をキープする上での基本であり、今後も元気に航行していきたいと思っております。



▲コンテナ専用船



▲マスクをして職務にあたる職員

船上から国民を勇気づけるメッセージ

[WE STAY ON BOARD FOR YOU PLEASE STAY HOME]

特集

海事分野における新型コロナウイルス感染症対策



日本郵船では、4月21日様々な国籍の乗組員たちによる、国民に向けた応援メッセージ「[WE STAY ON BOARD FOR YOU PLEASE STAY HOME]（私たちは 皆様の

生活を支えるため 今日海を走ります おうちにいましょう）」をSNSで発信しました。通常、外航貨物船の船員は3か月から6か月の期間で定期的に乗下船を繰り返すところ、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、国をまたいだ人の移動に制限が掛けられ、円滑な乗組員交代を行う事が出来なくなりました。そこで、ライフラインを支えているエッセンシャルワーカーである船員の窮状を少しでも世の中の人に知って頂きたい、外出自粛が続くなか、物流の最前線で働く船員からのメッセージを送ることで、少しでも皆様を元気づけたいという趣旨で企画したとのこと。担当者は、「今後、“With コロナ”を念頭に、経済活動の維持と感染拡大防止の両面を達成する難しい局面にあっては、船員の移動を安全に行い、生活基盤である物流を止めないことが、我々の社会的使命であることを再認識しており、世界中の皆様と、その思いを共有したい。」と語りました。



商船三井では、全運航船、そして乗組員と共に、感染の収束への願いと、進み続けることの決意を掲げ、5月25日に特設ウェブページ「乗り越えよう、COVID-19」を開設しました。

特設ページでは、船と物流は「ひと」が動かしていることを知ってもらい、現場の思いを発信することを中心に、船上や物流の最前線、そしてそれを支える世界のグループ拠点からのメッセージを画像や動画を通して紹介しているほか、社内外で使用しているオリジナルメッセージイラストも掲載しています。また、コーナー「商船三井の『おうちで過ごそう』」では子供たちが家で遊べるように、3種類の貨物船のペーパークラフトのデータを配布するとともに、お風呂で遊べる船の作り方を公開するなど、バラエティ豊かな情報発信を行っています。



川崎汽船では、世界中の船乗りさんへの感謝と応援の気持ちを込めて、6月17日に「船上の仲間へ届け！！家族とつなぐ応援メッセージ」と題した動画を公表しています。動画

は陸上勤務中の船員が乗船中の仲間を応援するために作ったもので、全編英語ですが、船上で頑張っている彼ら・彼女らを応援する家族との絆が強く感じられるメッセージになっています。この動画はコメント機能がついており、一般の方から船員応援メッセージを送ることが可能です。

同社は適正な勤務環境を確保し、安全運航を遂行することで人々のライフラインを支え続けるため、関係機関とも協力しながら、船員の円滑な交代に向けた取り組みを継続していくとのことです。



旅客船ではじまる新しい生活様式

クルーズ再開に向けた取組み・外航旅客船における新型コロナウイルス感染症対策について

特集

クルーズ船利用者の安全・安心の確保に向けた有識者 WG

2020年2月に発生したダイヤモンド・プリンセス号での新型コロナウイルス感染症集団感染事案等により、クルーズ船に対する安心が損なわれたことを踏まえ、クルーズ船事業者、港湾管理者等の関係者が講ずべき措置等について、「クルーズ船利用者の安全・安心の確保に向けた有識者 WG」において、クルーズ産業の専門家、感染症専門家、危機管理専門家、クルーズ業界関係者、港湾関係者などの幅広い分野の有識者から意見を伺いました。

これらの議論を踏まえ、国土交通省の監修のもと、関係業界団体において、クルーズ船及び受入港の感染症対策に関するガイドラインを策定することといたしました。

今後は、ガイドラインで定められた措置を速やかに実施し、再び安心してクルーズを楽しめる環境整備が行われたことを前提に、クルーズ再興に向けた振興策を実施していきます。

海事分野における新型コロナウイルス感染症対策



飛鳥Ⅱ
(郵船クルーズ (株))



にっぽん丸
(商船三井客船 (株))



ばしふいっくびいなす
(日本クルーズ客船 (株))

コスタアトランチカの取組

長崎市内の造船所に2月から停泊していたイタリアのクルーズ船「コスタアトランチカ」において、乗員等623名(4月20日時点)中149名について新型コロナウイルス感染症への感染が確認されました。

これに対処するため、長崎県、長崎市、厚生労働省、防衛省、造船所等が協力して感染拡大防止等の対応を進める中、海事局も本対応に参画し、長崎県庁や船会社の日本支社に職員を派遣して、陰性判明者の早期下船・帰国や、同船の速やかな出航に向けた関係者間の連絡調整にあたりました。

これら関係者による連携の結果、長崎県の医療体制に大きな影響を及ぼすことなく、計495名が下船・帰国した後、「コスタアトランチカ」は5月末に無事出航しました。



提供：三菱造船株式会社

▲長崎市内の造船所に停泊しているコスタアトランチカ



▲長崎市内の造船所から無事出航する際、関係者に感謝する乗員

国内旅客船における新型コロナウイルス感染症対策について

国内外において、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）との戦いが続いています。厳しい状況の中ですが、「新しい生活様式」を取り入れていくことで、感染症の拡大を防ぐことができ、ご自身のみならず、大切な人の命を守ることにつながります。

こうした中で、海事観光の中心である国内旅客船事業者においても、終息後の需要回復に向け、利用者の安全・安心を第一に、乗組員・従業員の手洗い、マスク着用をはじめ感染防止対策に全力で取り組んでいます。

【旅客船における主な感染症対策】

(乗船前の検温実施)



▲ターミナルで密集を避けるため利用者の間隔を確保するとともに、乗船前検温を実施の様子
提供：マリックスライン HP

感染症対策 へのご協力を お願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

① 手洗い 正しい手の洗い方

① 流水でよく手をぬがした後、石鹸をつけて、手のひらをよくこすります。
② 手の甲をのぼすようにこすります。
③ 指先を手のひらにのぼすようにこすります。
④ 指の指を洗います。
⑤ 親指と手のひらのすきまをしっかりと洗います。
⑥ 手首も忘れずに洗います。
⑦ 石鹸をしっかりと洗い流したら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

② 咳エチケット 3つの咳エチケット

咳やくしゃみ、呼吸など人が集まるような場所は、必ずマスクを着用し、ティッシュハンカチで口を覆う。手で口を覆うのはNG。

正しいマスクの着用

① 鼻と口の両方を確実に覆う
② ゴムひもを耳にかける
③ 隙間がないよう鼻まで覆う

※ 乗組員もマスクを着用してください。

特集

海事分野における新型コロナウイルス感染症対策

(船内の消毒)



▲乗客が触れる船内の手すり等をアルコール消毒する様子
提供：マルエーフェリー HP

(飛沫感染防止のための仕切り設置)



▲ターミナルや船内案内所に飛沫感染防止のためパーテーションを設置
提供：太平洋フェリー HP

